from M

第 94 号

岸和田市教育委員会・きしわだ自然資料館

令和 7 年 10 月 20 日

岸和田は昔話の宝庫・「葛城仙人」と「葛城修験」

杉山　優子

おじかくらぶは、岸和田の昔ばなしを人形劇にして演じるお母さんたちのグループです。今回は私たちの人形劇の題材となったお話のひとつ「葛城仙人」について紹介する 4 回目、これで最終回です。

※第 1 回目から第 3 回目は 81・82・84 号をご覧ください。自然資料館 HP で公開しています。

https://www.city.kishiwada.lg.jp/site/shizenshi/fromm2025.html

葛城仙人について調べるうちに、和泉葛城山は、修験道の開祖役行者が開いた和歌山から大阪、奈良の山岳地帯を結ぶ「葛城修験」の一部であることを知りました。ここは役行者が最初に修行した場所とされ、奈良の大峰山を開くより前に存在していたそうです。この山系にある 28 か所に経典「法華経」の二十八品（章立て）を一品ずつ埋めたその場所（納経地）をむすぶ道が葛城修験の道とされ、各納経地は「葛城二十八宿」として、修験の場となりました。そのうちの第九「授学無学人記品」が和泉葛城山山頂にある「嶺の龍王」で、第十「法師品」が牛滝山大威徳寺にあります（図 1）。

図 1.「法師品第十　牛滝山大威徳寺」

江戸時代のガイドブック的な書物のひとつ『和泉名所図会』には、牛滝山大威徳寺について「役行者がここに来て第二の滝の上で修練した際、不動尊を彫刻してこれを安置した。それが今の明王堂である」とあり、さらに「比叡山から恵亮という僧が来て『大威徳陀羅尼経』を唱えたら、第三の滝から牛のような石があらわれた」とあります。

私たちに葛城仙人の話を教えてくださった山滝小学校大沢分校（現在の大沢山荘にあった学校）の先生だった故高見篤良さんが大沢町の転法輪寺にお住まいのころ、寺の近くに役行者が坐って修業した「高座石」があって遊びに行っていたことや、牛滝には今でも修験者たちがほら貝を吹いているのが

見られることなどを話してくださったので、大沢町へ行ってみました。大沢神社には「碑伝（ひで）」という修験者が修行を終えたあと立てる木の札が残っており（図 2)、本当に修験者が来ているのだと驚きました。修験道って、とっても遠いものだと思っていたのに、こんな身近なところにあってなんだか親近感がわきました。

図 2. 岸和田市大沢町の大沢神社（左）と碑伝（右）

さらに、岸和田市立図書館でおもしろい本を見つけました。『葛嶺雑記』という江戸時代の本（図 3）で、法華経を奉納した経塚の場所や修行場、そしてそれらを結ぶ道が詳しく載っていました。この本の序には、「江戸時代末期には経塚の場所などが分からなくなっていたが、そのことについて過去にまとめたものが犬鳴山で見つかったので、改めてこの本でまとめて紹介した」というような内容が書かれていました。役行者が山岳信仰として修験道を始めたのが約 1,300 年前。それ以降の歴史の中で、消えたり復興したりを繰り返しながら、今があるのだと感じました。

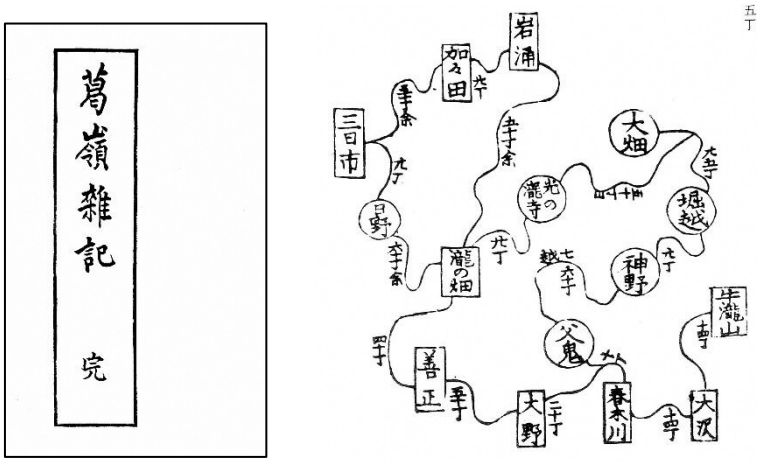

図 3.「葛嶺雑記」より（岸和田市立図書館蔵）

おじかくらぶの人形劇「葛城仙人」のラストシーンで、厳しい修行を続けてきた青年は、八大龍王から授かった法瓶を持って大空へ飛び立ち、人々のために雨を降らせます。そのとき私たちは、和泉葛城山の上からのぞんだ風景を思いながら演じました。

葛城仙人の物語は、私たちを自然とともに暮らしてきた人々に出会わせてくれました。それは遠い昔の話ですが今にも通じるお話であり、昔話はけっして「むかしのはなし」ではありませんでした。「葛城仙人」が教えてくれたことを、これからも人形劇を通じて伝えていけたらと思います。

人形劇の出前授業は、地域の小学校や幼稚園などでも行っているので、興味のある方はおじかくらぶの活動拠点である岸和田市立箕土路青少年会館にお問い合わせください。

（すぎやまゆうこ　おじかくらぶ）

鳥のおすすめ本紹介

鈴子 佐幸

和泉山脈から丘陵地、ため池、平地、海と多様な環境にめぐまれた泉州地域では、いろいろな鳥に出会えます。私の家の近くにはため池があるのですが、そこにやってくる鳥を見るだけでも、多くの発見があります。おそらく学校の校庭にも、季節ごとに多様な鳥が来ているのではないでしょうか。今回は、鳥に関するおすすめ本をみなさんに紹介したいと思います。

おすすめ本　その 1

『庭で楽しむ野鳥の本　原寸大』　　大橋　弘一／著　　山と溪谷社

庭にやってくる身近な鳥が原寸大で紹介されているので、はじめての方でもわかりやすい本です。特におすすめなのは、バードウォッチングで鳥の大きさを比べる基準となる「ものさし鳥」の説明ページです。

小さい順に、スズメ、ムクドリ、キジバト（ハト）、ハシボソガラス（カラス）が紹介されているのですが、これらの大きさを覚えておくことで、次に見た鳥がそれより大きいか小さいかを判断する際の目安になります。児童や生徒が見つけた鳥について説明するときは、「どんな鳥だった？」と聞くより「ハトより大きかった？」とか「カラスより大きかった？」とかいう聞き方をするとよいかもしれませんね。

おすすめ本　その 2

『野鳥の羽　ハンドブック　　高田　勝・叶内　拓哉／著　　文一総合出版

鳥を観察するのは楽しいのですが、すぐに動いてどこかへいってしまう、見られても遠く、双眼鏡や望遠鏡を持っていないとよくわからないなど、少し慣れが必要です。しかし、落ちている羽なら、近くで見ることができますし、実際に学校や幼稚園などで「これはなんの羽？」と聞かれることはよくあるのではないでしょうか。このハンドブックは、羽を調べるときにとても役に立ちますし、単にながめるだけでも、身近な鳥の羽の美しさに気づくことができます。

おすすめ本　その 3

『ツバメのたび　― 5000 キロのかなたから ―』

鈴木　まもる／作・絵　　偕成社

最近は、ツバメの数が減ったといわれていますが、泉州地域ではまだまだ観察することができます。

春にやってきて家の軒先などに巣を作るので、巣の場所さえ分かればいろいろな場所で観察できます。岸和田市立東葛城小学校のように、校舎に巣がある学校もありますね。この本ではツバメがどんな旅をして日本までやってくるのかを、美しい絵とともに紹介されています。読み聞かせにも最適でしょう。

ちなみに、私の身近でのここ 3 年間のツバメの初認日は、2023 年が 3 月 15 日、2024 年は 3 月 11 日、2025 年は 3 月 14 日であり、だいたい 3 月中旬にはやってくるようです。

このように、身近な鳥の観察に適した本はいろいろありますので、みなさんぜひいろいろな本を手に取ってみてください。

（すずこさゆき　きしわだ自然友の会評議員）

Information

●令和 7 年度特別展

「きしわだ自然資料館　ともに歩んだ 30 年　みんなで育て、みんなで楽しむミュージアムをめざして」

1995 年 6 月 1 日に開館したきしわだ自然資料館は、2025 年 6 月 1 日に開館 30 年を迎えました。この 30 年の間、社会は大きく変化しましたが、そのなかでみんなに育ててきた地域の博物館「きしわだ自然資料館」も変化し、現在に至ります。今回の展示では、30 年間続いた当館がどのようにかたちづくられ、変化していったのかを考える機会にしたいと思います。

会期中は自然資料館で生まれた人気ワークショップや、岸和田市内の自然をめぐる野外観察会なども開催します。

会　　期：2025 年 11 月 1 日（土）～2026 年 1 月 12 日（月・祝）
開館時間：10：00～17：00（入場は 16:00 まで）
休館日：祝日を除く毎週月曜日、11 月 4 日、25 日、12 月 29 日～1 月 3 日
会　　場：きしわだ自然資料館 1 階ホール
料　　金：おとな 400 円　中学生以下無料
※11 月 15 日・16 日は無料開館
問い合せ：自然資料館（下記参照）

●第 60 回市立公民館・中央地区公民館
公民館まつり 郷土文化課 Presents 歴史講座

『岸和田のあけぼの』

岸和田市内にある遺跡やそこから出土した土器などの遺物について、岸和田市の郷土文化課職員がお話します。

当日は実際に市内で発掘された土器や埴輪など実物の展示もあります。ぜひこの機会にごらんください。

日時：2025 年 10 月 26 日（日）
14：00～15：15
場所：岸和田市立公民館・中央地区公民館 2 階講座室 2（堺町）
講師：松木研太（郷土文化課職員）
定員：20 名程度（当日先着順・申込不要）
費用：無料
問い合せ：講座については郷土文化課
電話：072－423－9688
FAX：072－423－8011
※当日は公民館まつりで駐車場が使えないので、お車での来館はできません。
※開催場所へのアクセスや公民館まつり全体の問い合せは、生涯学習課（072－423－9616）にお願いします。

【from M】では，みなさまからのご意見，ご感想，ご質問等をお待ちしています．博物館での学習，研究等に関する情報，地域の自然環境や地誌に関する面白いトピックスなどがありましたら，ぜひご投稿ください．お名前，連絡先，所属等をご記入の上，右記の宛先までお送りください．電子メールでも受け付けています．

連絡・問い合わせ先

〒596-0072 岸和田市堺町 6-5
きしわだ自然資料館
TEL:(072)423-8100
FAX:(072)423-8101
Email:sizen@city.kishiwada.osaka.jp
自然資料館ホームページ:
https://www.city.kishiwada.lg.jp/site/shizenshi/

※お願い　[fromM]は，学校教職員に 1 部ずつお配りください．
担当の方はお忙しいところ申し訳ありませんが，よろしくお願い申し上げます．